

平成26年度

第1回 栄区セーフコミュニティ推進協議会

日時:平成 26 年5月 20 日(火)15時 30分から

場所:栄区役所本館4階2号会議室

1 栄区セーフコミュニティ推進協議会について

2 議題

(1) 平成 25 年度の栄区セーフコミュニティ活動について…資料1

(2) 平成 26 年度の栄区セーフコミュニティ活動について…資料2

3 その他…資料3

栄区セーフコミュニティ推進協議会出席者名簿

(敬称略)

会長	栄区長	尾仲 富士夫
副会長	栄区連合町内会長	磯崎 保和
副会長代理	栄警察署生活安全課長	竹村 誠司
副会長	栄消防署長	加藤 雅之
委員	笠間連合町内会自治会長	持田 忠
〃	小菅ヶ谷連合町内会自治会長	田中 房一
〃	本郷中央連合町内会自治会長	野村 政晴
〃	本郷第三連合町内会長	保坂 順弥
〃	上郷西連合町会長	新保 孝雄
〃	上郷東連合町会長	吉田 敏生
委員代理	栄区社会福祉協議会事務局長	田中 文子
委員	栄区民生委員児童委員協議会長	長瀬 潔
〃	栄歯科医師会公衆衛生理事	朝廣 賢哲
〃	栄区薬剤師会長	保田 みや子
〃	災害安全対策分科会座長	磯崎 保和
〃	交通安全対策分科会座長	森 雅宏
〃	高齢者安全対策分科会座長	竹谷 康生
〃	スポーツ・余暇安全対策分科会座長	丸山 隆
〃	暴力・虐待予防対策分科会座長	宮崎 良子
〃	自殺予防対策分科会座長	河西 千秋
参与	栄区議員団	楠 梨恵子
〃	栄区議員団	大桑 正貴
〃	栄区議員団	輿石 且子

平成 26 年度第 1 回 栄区セーフコミュニティ推進協議会：議事録

日 時：平成 26 年 5 月 20 日（火）15 時 30 分～16 時 30 分

場 所：栄区役所本館 4 階 2 号会議室

出席者：【委員】

磯崎副会長（栄区連合町内会長）、伊東副会長代理竹村様（栄警察署）、
加藤副会長（栄消防署長）、持田委員（笠間連合町内会自治会長）、
田中委員（小菅ヶ谷連合町内会自治会長）、野村委員（本郷中央連合町内会長）、
保坂委員（本郷第三連合町内会長）、新保委員（上郷西連合町内会長）、
吉田委員（上郷東連合町会長）、日浦委員代理田中事務局長（栄区社会福祉協議会）、
保田委員（栄区薬剤師会長）、竹谷委員（高齢者安全対策分科会座長）、
丸山委員（スポーツ・余暇安全対策分科会座長）、宮崎委員（暴力・虐待予防対策分科会座長）、
河西委員（自殺予防対策分科会座長）

【参与】

楠参与、大桑参与、輿石参与（いずれも栄区議員団）

【栄区役所】

区長、福祉保健センター長、担当部長、土木事務所長、総務課長（災害安全対策分科会）、
学校支援・連携担当課長（こども安全対策分科会）、地域振興課長、高齢・障害支援課長、
福祉保健課長、こども家庭支援課長、土木副所長、危機管理担当係長、まちづくり担当係長、
事業企画担当係長、

（冒頭）区長あいさつ

【要旨】

今回の協議会は、セーフコミュニティ認証後初めての開催となります。みなさまのご協力により、
認証が取得できましたが、認証後どのように取組を進めていくのか、まさにこれからだと思ってい
ます。引き続き、関係者の皆さま方と区役所全体で連携して安全安心の取組に取り組んでいきたく
と考えておりますので、よろしくをお願いします。

- 1 栄区セーフコミュニティ推進協議会について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・参考
事務局から、委員の交代について及びセーフコミュニティ推進協議会について、位置づけや開催
実績などについて説明しました。

2 議事

- （1）平成 25 年度セーフコミュニティ活動について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料 1
事務局から、平成 25 年度のセーフコミュニティ活動について報告しました。資料 1－1 を元に認
証取得や各分科会の開催実績、それぞれの分科会が実施した取組や、傷害サーベイランス分科会か
らの評価・助言などについて報告しました。

【質問・意見】 特になし。

(2) 平成 26 年度セーフコミュニティ活動について・・・・・・・・・・・・・・・・資料 2

次のとおり、説明がありました。

各分科会事務局から、平成 26 年度の目標や具体的な取組について (資料 2-1)

総務課から、セーフコミュニティのプロモーション計画について (資料 2-2)

事務局から、セーフコミュニティフォーラムについて (資料 2-3)

新たなプログラムの検討について (資料 2)

第 7 回アジア地域セーフコミュニティ会議への参加報告について (資料 2)

【質問・意見】

- ① 国際会議の参加報告では、釜山は旅客船転覆事故を受けて自粛ムードということでしたが、その雰囲気をもう少し知りたい。また、栄区でアジア地域の国際会議開催というのも活動を盛り上げるには魅力的だと思うが事務局の考え方を聞きたい。(輿石参与)

→自粛の状況については、東日本大震災後の日本の状況のイメージが近い。自粛の通達は、国のトップレベルから降りているようで、釜山市長の出席も予定変更により認証式のみになるなど、韓国としてはかなり大きなこととして捉えているようだった。

国際会議の開催について、日本では過去に豊島区で開催実績がある。また、今回の会議に出席していたイランが次回開催に手を挙げていると聞いている。

- ② 栄区の事業ほぼすべてが入っていて、いろいろな人が関わっていることを実感したし、そのことにまずは感謝申し上げたい。国際会議で質の向上が話題になったとの話もあったが、区役所と連携して、スリムにコンパクトにリーダーの負担も考えてうまく進めていっていただきたい。微力ながら私も支援をしていく用意がある。(大桑参与)

- ③ SCフォーラムで、認証取得都市のパネルディスカッションをすることだが、厚木市が認証を先行取得しているので、私からも神奈川県全体としてバックアップをしてほしいと県に伝えているが、なかなか芳しくない。自治体同士の交流を図りながら、成功体験の共有を通じて活動を広めてほしい。認証という旗印のもとに、地域がまとまってきたという成功事例を共有することで、全国的に広まると思うので、参考事例などぜひ共有していきたい。(楠参与)

- ④ 以前にスウォンでSCの会議が開かれた際に、自殺について講演をした。韓国では自殺が社会問題となっているが、自殺対策の取組について会議での発表等があったか。(河西委員)

→韓国は自殺が多いという話題が冒頭の講演会では出ていた。参加できなかった分科会で発表はされていたかもしれない。参考になる資料等があれば、確認の上、分科会に適宜情報提供していきたい。

- ⑤ 自殺対策の分科会にとって、普及活動の観点からSCはとても良いやり方である。自殺予防は、単体で取組むのは難しいが、SCという安全安心のまちづくりの一環の大きな枠の中で「自殺が起こらないようなまちづくりをしよう」と分科会として進めていけると活動もうまくいくので、

SC全体としても自殺対策としても価値がある。また、自殺予防の取組を普及する上では、議会などで問題提起していただくなど、ぜひご支援いただきたいと思う。

3 その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料3

福祉保健課から、第3期栄区地域福祉保健計画策定の考え方 及び 地区別計画策定の方法とスケジュールについて説明しました。

【質問・意見】 特になし。